

	主体的な学び	対話的な学び	深い学び (技能統合へ・転移)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■楽しいタスクとトピック (教材素材)、外国とのやりとりの必然</li> <li>■知りたいやってみみたい面白そうできそうだ (意欲) → もっと (聞き) たい、もっと (聞く) 必要があるタスクを仕掛ける → 確実にできてしまわせる → 僕、英語できるかも → やる・わかる・できる・おもしろい・やるのハッピー永遠ループ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■必然的に双方向コミュニケーションをうむタスクを仕掛ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■背景知識、生活経験を活かして英語に向かうことを明示的に求める ← <b>本校の課題①</b>。</li> <li>■教材に関する動画を見たり、新聞記事を探したり、書籍で調べたりして自分の実生活に引きつけて考える機会をもつ (家庭学習へのリンク、意欲につなぐ、自立 (自律) した学習者育成)</li> </ul>
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題をもって聞く (概要・リスニングポイント)</li> <li>■オーセンティックなトピックについて教師の英語を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■相手からの説明や要求、質問等を聞いて理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■聞いたことについてペアやグループで内容確認したり、内容に対する自分の意見をシェアしたりする</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>■スキーマを活性化させるリーディングポイントの提示 (例: これは誰が何時頃書いた英語? なぜこう言ったの? このあとどうなったと思う?), 推論発問</li> <li>■既習の単語や表現を活用して読む</li> <li>■わからない語があれば、辞書で調べる</li> <li>■読んでも意味がわからない部分が自分でわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■QA や TF、ジグソー等を活用してペアやグループで、自分の読解を確かめる機会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■行間を読む力</li> <li>■読むことを通して英語表現を知り習熟する (母語への気づき)</li> <li>■読み取った内容について自分の意見をもつ</li> <li>■読んだことや聞いたことをもとに、その内容と類似した例・反対の例をもつ読解教材を与える (パラレルな教材やパロディを作ってもよい、ということです)</li> </ul>
話すこと やりとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■目的をもって質問する</li> <li>■困った状況を説明し、必要な助けを依頼する</li> <li>■適切に・正確に伝わる英語表現の習熟・定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■相手の質問の意図を汲んで答える (例: Do you have a pen? xYes, I do. oHere you are.)</li> <li>■困った状況を理解し、どうにかして助けてあげる</li> <li>■相手からの質問を受ける</li> <li>■会話を続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■読んだことをもとに、ペアやグループで各自の考えをシェアする</li> </ul>
話すこと 発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話したいことがある</li> <li>■話す必要がある事柄がある (説明・要求など)</li> <li>■相手に伝わるように話す (正確に伝わる)</li> <li>■相手意識をもって話す (誤解なく伝わる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■話したあとに質問を受ける</li> <li>■話を聞いたあとに質問する</li> <li>■話を聞いたあとにコメントする (自分の考えをプラスする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■読んだことや聞いたことをもとに、その内容について要約して話す</li> <li>■読んだことや聞いたことをもとに、その内容について自分の意見を話す</li> <li>■読んだことや聞いたことをもとに、その内容と類似した例・反対の例を挙げて話す。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>■書きたいことがある</li> <li>■書く必要がある事柄がある (レポート・宿題等)</li> <li>■読む相手を意識して書く (例: レポート、図表の活用、ポスターのバリエーションを多彩にする)</li> <li>■相手に伝わるように書く (正確に伝わる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■紙面上でやりとりする (例: 授業中の手紙交換英語バージョン)</li> <li>■チャット、LINE の形にしたライティングやスキット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■読んだことや聞いたことについて、要約を書く</li> <li>■読んだことや聞いたことについて自分の意見を書く</li> <li>■読んだことや聞いたことについて他の事例を調べ、情報を増やし、自分の関心や実生活につなげて書く</li> </ul>

1. 指導計画を考える私自身のポイント

- ① 実態把握・・・生徒はどの程度英語での指示がわかり、反応できるか  
 どのような外国語活動の経験をしており、それに対してどのように感じているのか（質問紙）
- ② 前向きな学習集団にするための手立て・・・「英語を学ぶ目的」と「教師の思い、願い」をズバッと伝える  
 授業のルールを端的に伝え、繰り返して指導する。推測させる。
- ③ Motor Skill の育成（**本校の課題②**）・・・鉛筆、塗る、なぞる、切る、学年レク等とのリンク、自己肯定感
- ④ 声を出させる、実態が最優先、段階的な指導、深追いせずそのかわり何度も、柔軟な軌道修正  
 （例：リハーサル×5→本番）、全員ができる場面を全員が目撃する仕組み
- ⑤“Mistake is OK, Challenge GOOD. No challenge NO GOOD.”

2. 指導計画

時	単元目標 「英語のリズムを感じよう」	使用する表現・教材
1	あいさつの仕方、カルタ、歌、自己紹介、英語通信（教師の自己紹介聞き取り、授業のもちもの）	Good morning. How are you? I'm fine. Thank you. Which country is this? What color is this? Very nice. Good. Excuse me? Make the group of four. Nothing on your desks. Put the things away. Put your desks. Spread out cards. You cannot talk. We are going to listen to the CD. If you're ready, please be quiet. They are not ready. Let's wait. Are you ready? Let's get started. How many cards did you get? Count like 1,2,3.. Who is your champion? Great. Stand up. How is the weather? It's interesting. It's hot. Who is your homeroom teacher? Do you have a brother? Do you know~? Do you like~? Loudly, Kindly. Clearly. Once more, please. Who wants to try? Can you~? Who can~? What is your favorite~? Do you want to ~? Open the window. Don't make noise.
2	歌、small talk、カルタ、単語	
3/4	歌、small talk、カルタ、アルファベット、単語(sports, food)	
5	歌、small talk、カルタ、数字、アルファベット 【活動】 Happy communication	
6	歌、small talk、カルタ、色、アルファベット 【活動】 Happy communication	
7	歌、small talk、アルファベット、数字、日付 【活動】 Happy communication	
8	歌、small talk、アルファベット、数字、月、日付 【活動】 When is your birthday? It's April 20th.	
9	歌、small talk、アルファベット 【活動】 What time is it? It's 9 o'clock.	
10	歌、small talk、アルファベット、数字 1~59、数字ビンゴ 【活動】 I like baseball. Do you like baseball? Yes, I like baseball.	
11	歌、small talk、カルタ、アルファベット、月、日付 【活動】 Do you like strawberries? Yes, I do. I like strawberries . No, I don't. I don't like strawberries.	

- 【導入期のもちもの】
- ・教科書
  - ・削ってある鉛筆2本
  - ・赤と青のペン
  - ・ファイル
  - ・ビンゴの本
  - ・辞書